



パワー・ハロー

取扱説明書

製品コード

K29920

型式 FLZ10KH450P

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社





LEMKEN

この度は、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

正しい手入れを行い、注意して使用し、本製品の特性を最大限活用してください。

本製品のお引渡しの際、すでに販売店より操作、調整、メンテナンスに関して簡単にご説明しておりますが、詳細につきましては、この取扱説明書に従っていただきますようお願いいたします。

初めて使用する前に、本取扱説明書を熟読してください。特に安全に関する説明には注意を払ってください。

本取扱説明書に明記されていない変更、改造を、メーカーの文書による許可無くすることはできません。

交換部品の注文

交換部品を注文する際は、製品の型式、製造番号をお知らせください。型式、製造番号は製品の識別プレートに記されています。以下の表にそれらを記入し、いつでもすぐ分るようにしておいてください。

型式 :
製造番号 :

また、交換部品はレムケンの純正部品のみをお使いください。それ以外の部品を使用した場合、製品の機能に悪い影響を及ぼします。また耐用年数が短くなり、余計なメンテナンスを増やすこととなります。

不正な部品の使用から生じた、機能低下、損傷などについて、レムケンは一切責任を負うことはできませんのでご了承ください。

正しい使用



- ・パワーハローを使用する前には、作業機及びトラクターの取扱説明書を良く読み、十分に理解してからご使用下さい。
ジルコン10Kパワーは、農地の耕作用に設計されています。
これ以外の使用によって生じた損傷などに関して、メーカーは一切責任を負うことはできません。使用者本人の責任となりますのでご了承ください。
正しい使用のもと、メーカーの指示に従って操作、メンテナンス、修理を行ってください。
- ・必ず、ジルコン10Kパワーとその危険性について熟知している人のみが、操作、メンテナンス、修理を行ってください。
- ・一般的に容認されている安全技術規則、職業規則、医療処置、交通規則と同様、関連の事故防止指示にも従ってください。
- ・認可されていない機械の変更によって生じた損傷などに対し、メーカーは一切の責任を負えません。

目次

1 安全にお使いいただくために	5
2 警告ステッカー	9
2.1 一般的注意事項	9
2.2 警告ステッカー	9
2.3 警告ステッカーの貼り付け位置	11
3 初めての使用	12
4 トラクターの準備	13
4.1 タイヤ	13
4.2 リフトロッド	13
4.3 チェックチェーン / スエイブロックの点検	13
4.4 ペンドラムサスペンション	13
4.5 油圧	13
4.6 スプールバルブ	13
4.7 必要なソケット	14
4.8 車軸荷重	14
4.9 3点リンク	15

11 ソリテールシードドリル用の連結部品	35
12 油圧後部リングケージ	36
12.1 リングケージの調整	36
12.2 直装作業機の固定	36
12.3 シードドリルを下げる	37
12.4 油圧後部リングケージ用リフトリミッター	37
12.5 コルターバー用油圧3点リンク	37
12.5.1 一般的注意事項	37
12.5.2 深度リミッター	38
13 トラックマーカー	39
13.1 調整	39
13.2 シェアボルト装置	40
14 メンテナンス	41
14.1 オイルの交換	41
14.2 ギヤケース	42
14.3 潤滑	44
14.4 ローターべアリング	45
14.5 ボルト	45
14.6 クイックチェンジ・タイン	45
14.7 スクレーパー	45
14.8 PTOシャフト	45
14.9 油圧ホース	45
15 公道での輸送	46
16 重量	46
17 摩耗しやすい部品	47
18 騒音	49
19 作業機の処分	49
20 留意事項	49

1 安全にお使いいただくために

一般的注意事項



- ・機械を使用する前には必ず、機械とトラクターが道路走行に適しているか、また、運転の安全性を点検してください。
- ・本取扱説明書の注意事項と同様、作業時の一般的な安全規則や公道使用時の安全規則にも従ってください。
- ・機械に引き込まれやすいだぶついた服装は避けてください。
- ・作業を開始する前に、すべての装置と作動部品の内容と機能に習熟してください。作業を開始してからでは遅すぎます。
- ・機械をきれいに保ってください。
- ・パワーハローを連結する際は、必ず規定の取り付け器具を使い指示に従って行ってください。
- ・作業機をトラクターに脱着する際は、特別な注意が必要です。
- ・すばやく作動する3点リンク用の解除ケーブルは緩く吊るし、一番下の位置に下げても、自動的に解除しないようにしてください。
- ・エンジンを始動したりPTOを作動させたりする前に、周囲に人がいないか、特に子供がいないかなど、機械の周りを確認してください。
- ・作業中や輸送中にパワーハローに乗ることは禁じられています。
- ・トラクターが動いている間は、決して運転席を離れないでください。
- ・運転状態、操縦、ブレーキは、取り付けまたは牽引している作業機やバランスウェイトによって左右されます。操縦、ブレーキを良好にするため、前部に十分な重さがかかるようにしてください。
- ・カーブを曲がる際は、パワーハローの広い張り出しや遠心力による動きを考慮して運転してください。
- ・パワーハローを作動する際は、必ず保護装置をすべて取り付け、作業位置にしてください。
- ・作業区域には入らないでください。
- ・パワーハローの回転部や、振り動く範囲には入らないでください。
- ・油圧装置を操作する際は、振り動く範囲に誰も入らないように注意してください。
- ・トラクターを離れる前に、パワーハローを地面に下ろし、エンジンを切りイグニッショングキーを外してください。
- ・トラクターとパワーハローの間に入る際は、必ずトラクターが動かないように駐車ブレーキや輪止めで固定してください。
- ・ホイールトラック・イラディケーターは輸送位置に固定してください。

作業機の装着

- ・ 作業機を3点リンクに取り付けたり、または3点リンクから取り外したりする前に、上昇/下降コントロールを所定位置に動かし、偶発的に上がったり下がったりしないようにしてください。
- ・ 3点リンクを取り付ける場合は、トラクターのリンクボールと作業機の取り付けピンが同じ種類であることを確認してください。
- ・ 3点リンクの部分は、挟まれたりせん断されたりする危険性があるので注意してください。
- ・ 3点リンク用の外部リフトコントロールを操作する場合は、トラクターと作業機の間に入らないでください。
- ・ 作業機が輸送位置にある場合、必ずトラクターの3点リンクのチェックチェーンなどでがっかり制限されているか確認してください。
- ・ 作業機を持ち上げて道路を走行する場合は、上昇/下降コントロールが下がらないよう固定してください。

直装作業機

- ・ 作業機を取り付ける際は、必ず規定の装置を使い、指示に従って行ってください。
- ・ 作業機を脱着する場合は、支持装置を対応する位置に置き、安全に固定してください。
- ・ 輸送ライト、警告装置、保護装置などの輸送用装置を取り付け、点検してください。
- ・ 油圧などさまざまな動力源によって動くすべての回転部分は、押しつぶされたりする危険性があるので注意してください。
- ・ 作業機を取り付けたり、取り外したりする前に、リフトコントロール・レバーをロックして、不意に上がったり下がったりしないようにしてください。
- ・ 作業機をトラクターに取り付けたり、トラクターから取り外す際は、特に注意して行ってください。

PTOシャフトの操作

- ・ メーカーが規定したドライブシャフトのみを使用してください。
- ・ PTOシャフトの保護チューブは2つの部分とも回転しないように固定し、正常に機能するようにしてください。
- ・ PTOシャフトの取り付け/取り外しの際は、必ずPTO駆動を切り、エンジンを停止しイグニッションキーを外してください。

- ・常に、PTOシャフトは正しく組み立て、安全性を確認してください。
- ・PTO駆動を作動する前に、トラクターのPTOシャフトの設定速度がパワーハローの許容速度に適合しているか確認してください。
- ・PTO駆動が作動する前に、パワーハローが動く危険範囲に誰もいないことを確認してください。
- ・エンジンが入っているときに、決してPTOシャフトを接続しないでください。
- ・PTOシャフトによって作業する場合、PTOシャフトの回転する範囲には誰も入らないようにしてください。
- ・位置が大きく傾いた場合は、必ずPTOシャフトを停止してください。
- ・**警告：** PTO駆動を切った後、ローターが停止するまでは数秒かかります。この間は、パワーハローに近づき過ぎないようにしてください。また、完全に停止するまで、パワーハローの作業は行わないでください。
- ・PTOシャフトによって動く部品を清掃、潤滑、調整する場合は、必ずPTOシャフトを切り、エンジンを停止しイグニッションキーを外してから行ってください。
- ・取り外したPTOシャフトは備え付けの台に保管してください。
- ・PTOシャフトを取り外した後は、トラクターのPTOをネジ留め式のカバーで覆ってください。
- ・損傷などを受けた場合は、修理、調整してから作業を続けてください。

油圧装置

- ・油圧パイプには圧力がかかっています。
- ・油圧ラムを接続する場合は、パイプは規定通りに接続してください。
- ・油圧パイプをトラクターに正しく接続してください。接続が逆の場合は、反対動作を引き起し(上昇/下降など)、事故につながる危険性があります。
- ・油圧パイプは定期的に点検し、損傷や古くなったものは交換してください。パイプの交換は、レムケンが定めた技術仕様に従ってください。
- ・高圧下で漏れた油圧オイルは皮膚に浸透し、重いけがにつながります。
- ・油圧装置の作業をする前に、作業機や付属装置をすべて下げ、油圧のかかっている個所を減圧し、トラクターのエンジンを切ってください。

メンテナンス

- ・ パワーハローのメンテナンス作業をする際は、必ずPTO駆動を切った状態でパワーハローを地面に下げ、イグニッショニキーを外してエンジンを停止してください。
- ・ 機械を上げてメンテナンス作業する場合は、適切な支えで固定し、安全に行ってください。
- ・ ナットとボルトはすべて定期的に点検し、必要であれば締め直してください。
- ・ オイルとグリースは規則に従って適切に廃棄してください。
- ・ パワーハローに溶接をしなければならない場合、もしトラクターに連結が必要であれば、そのバッテリーまたは発電機を切ってください。
- ・ パワーハローを修理する場合、必ず純正または認可された交換部品を使用してください。

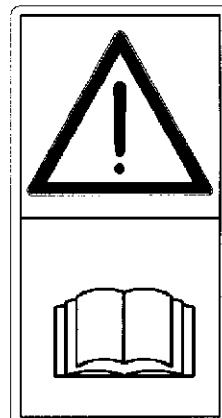
2 警告ステッカー

2.1 一般的注意事項

レムケン・ジルコン10Kには、安全に操作するための特性がすべて装備されています。完全に覆うことのできない作業機の危険箇所には、警告ステッカーが貼られ注意を喚起しています。

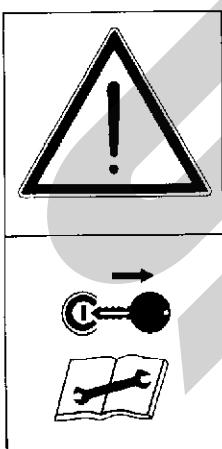
2.2 警告ステッカー

各ステッカーの意味をよく理解してください。以下の記述は、ステッカーが示している内容を詳しく説明しています。



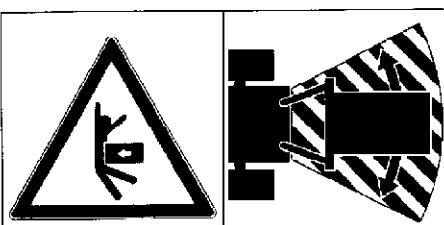
390 0555

警告: 作業機を操作する前に、取扱説明書をよく読んで、その指示事項に従ってください。



390 0509

警告: メンテナンスや修理を行う前には、エンジンを切りイグニッシュョンキーを外してください。



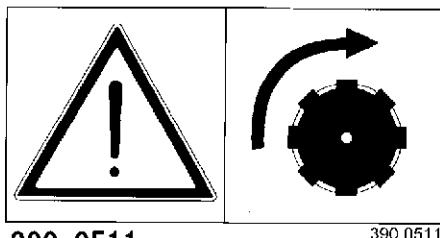
390 0510

警告: 作業機の作動範囲には近づかないでください。



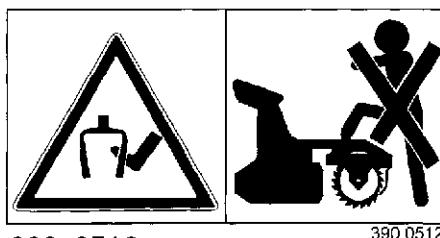
390 0506

警告： 挟まれる危険性がありますので注意してください。



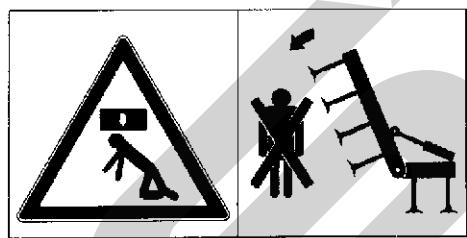
390 0511

警告： 後部PTOは時計回りに回転します。



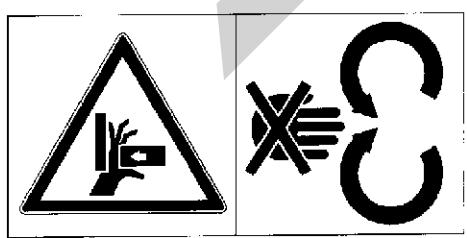
390 0512

警告： 機械に上がらないでください。



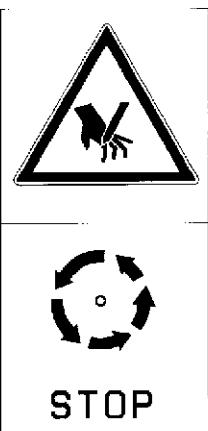
390 0540

警告： 作業機が広げられている範囲には近づかないでください。



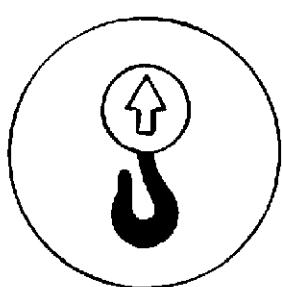
390 0514

警告： 回転する個所は危険ですので注意してください。



390 0513

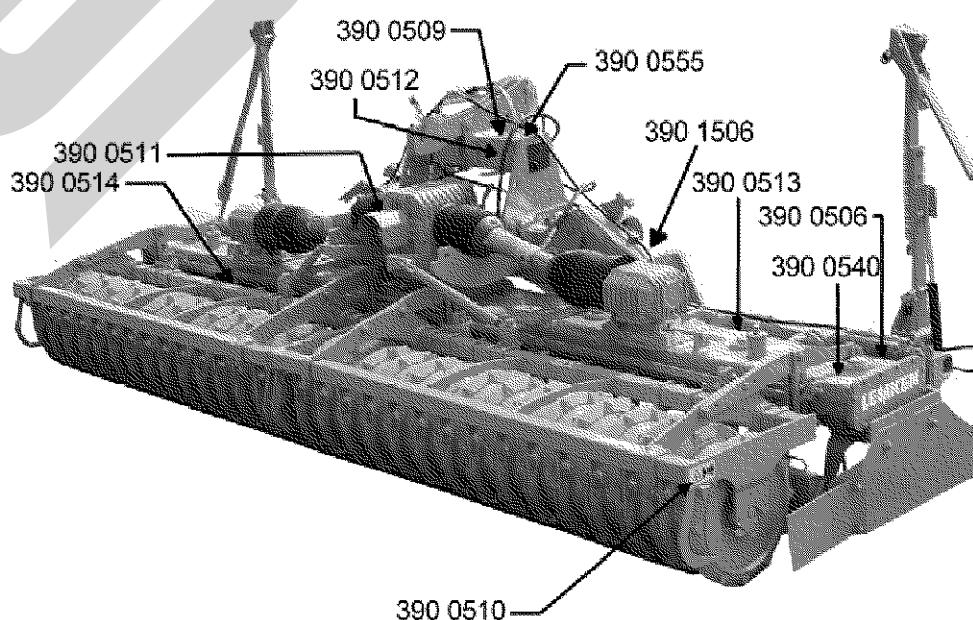
警告： 機械のすべての部品が完全に停止してから、部品に触ってください。



390 0588

警告： ここで作業機を吊るしてください。

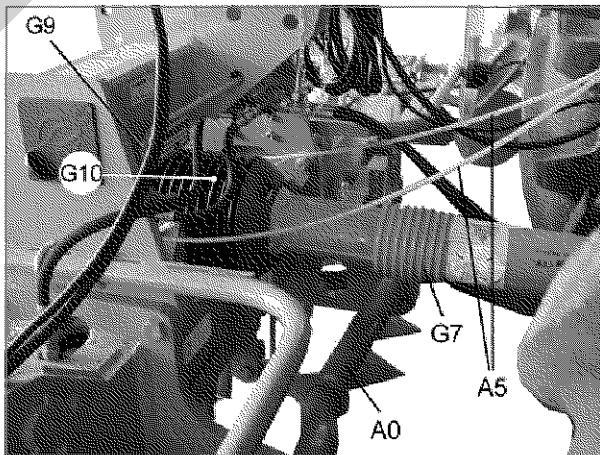
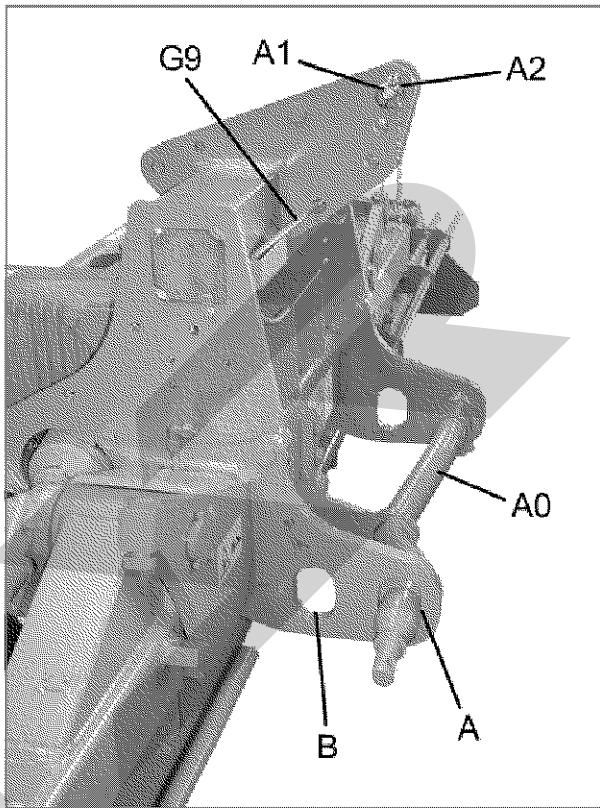
2.3 警告ステッカーの貼り付け位置



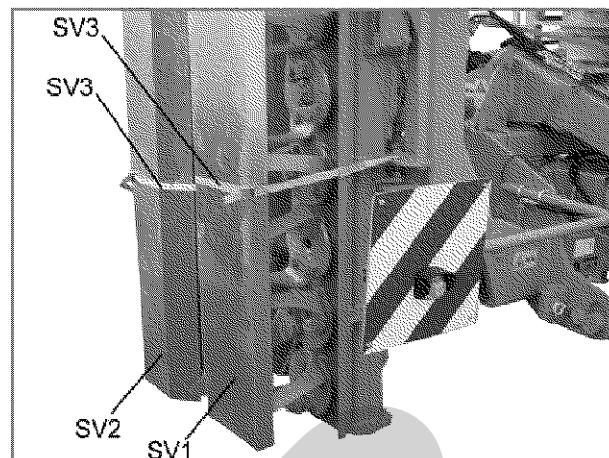
5 パワーハローの取り付け / 取り外し

5.1 トラクターへの取り付け

- トラクター油圧を“ポジションコントロール”に設定します。
- トラクターのロワーリンクをパワーハローのドローバー(A0)に接続し、固定します。
- トラクターのトップリンクをヘッドストックに接続、固定し、作業中、トップリンクがパワーハローの方に少し上がるようになります。
- トップリンク・ピン(A1)を固定ピン(A2)によって固定します。
- PT0シャフト(G7)をその取り付け台(G9)から外し、トラクターPT0に接続します。
- PT0シャフト保護装置(G10)がギヤボックスに固定され、回らないようになっているか確認してください。
- PT0シャフト(G7)の取り付け台(G9)を上に振り上げ固定します。
- 油圧ホースと電気ケーブルを接続します。
- 折りたたみ式固定装置のロープ(A5)をトラクターの運転席に配置し、自由に動くように垂らし、トラクター運転席から滑り落ちないようにします。
- パワーハローを公道で輸送する場合は標識板と照明装置を取り付けてください。また、それらが正常に作動するか点検してください。



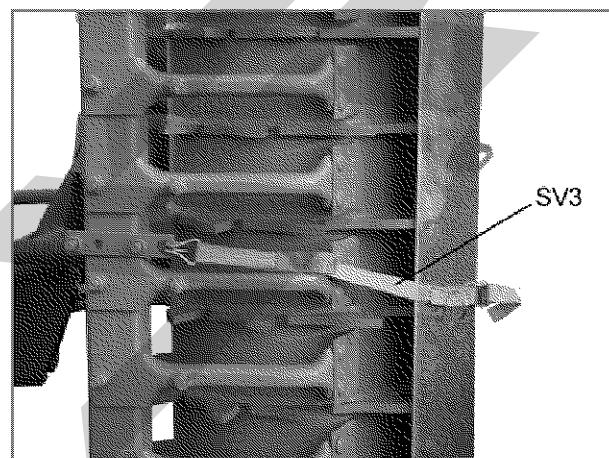
- 公道を走行する場合は、保護装置(SV1)を必ず取り付けてください。パワー・ハローがパッカーローラーを装備している場合は、ローラーを保護装置(SV2)で保護してください。
- 保護装置は、パワー・ハローか、またはパッカーローラーにストラップ(SV3)を締めて取り付けます。



5.2 トラクターからの取り外し

ジルコン10Kをトラクターから取り外す前に、ジルコン10Kを持ち上げ完全に広げてください。保護装置(SV1とSV2)が付いている場合は、作業機を広げる前にそれらを取り外してください。

- トラクターの油圧を“ポジションコントロール”に設定します。
- ウィング・セクションが完全に広がった後、パワー・ハローを下げます。
- 後部リンクを完全に下げます。
シードドリルが付いている場合は、それといっしょに下げます。
- 油圧ホースを取り外し、保護キャップを取り付けます。
- 電気ケーブルを外します。
- トップリンクを取り外します。
- PT0シャフト(G7)の取り付け台(G9)を振り下ろします。
- PT0シャフト(G7)をトラクター側から取り外し、取り付け台(G9)に入れます。
- トラクターのロワーリンクをドローバー(A0)から取り外します。



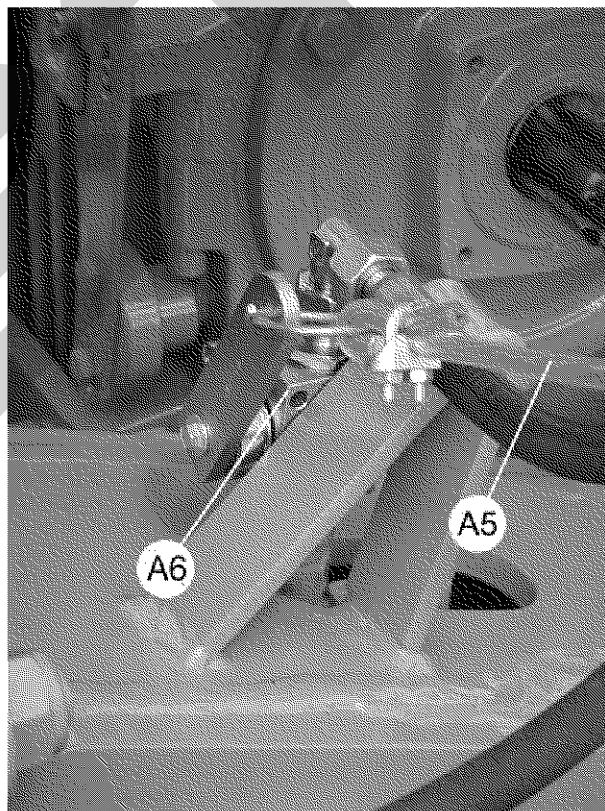
- “PT0シャフト”的説明書と同様に、一般的な安全注意事項、“油圧組み立て部品”的説明書も読み、遵守してください。



6 パワーハローの折りたたみ/広げる

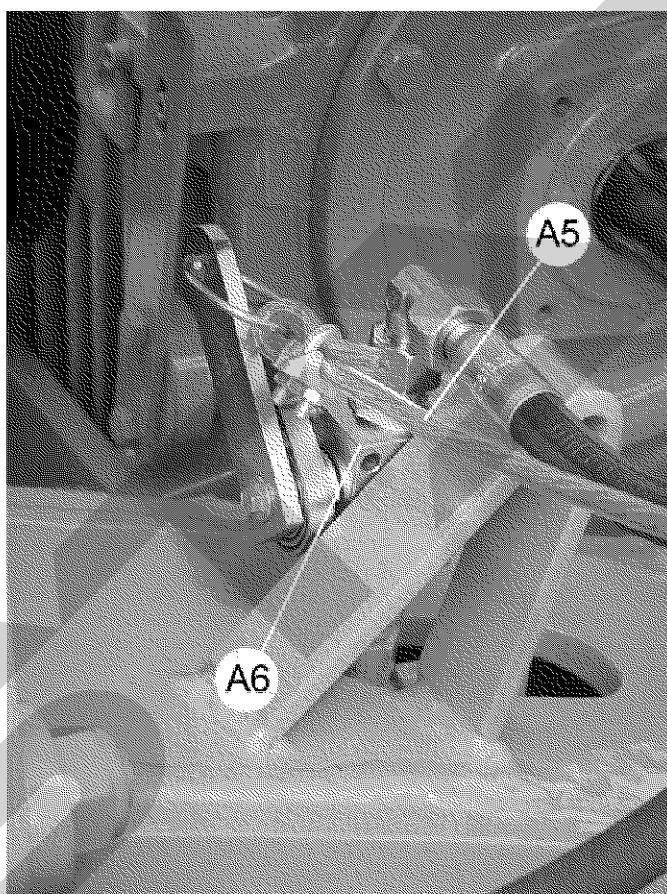
6.1 ウィングセクションの折りたたみ

- 輸送の場合は、パワーハローを折りたたみます。 パワーハローはトラクターに取り付けられている場合のみ、折りたたんだり広げたりすることができます。
- トラクターのPTOドライブシャフトにブレーキ装置が装備されている場合、折りたたむ前に、PTOシャフト(G7)をPTOドライブシャフトから取り外してください。ブレーキ装置は、スイッチの入ってないPTOドライブシャフトを手動で回すことができないようにしています。
- 折りたたみ装置の油圧ラムは、それぞれ別個に複動スプールバルブに接続してください。
- スプールバルブを “折りたたみ位置” に操作し、ロックバルブ(A6)のロープ(A5)を引き、ウィングセクションを完全に折りたたみます。その後、ロープを緩め、ロックバルブ(A6)を閉じます。
- ロープが正しく緩められているか点検してください。
- トラクターのスプールバルブをロックして、ウィングセクションが不意に広がらないようにしてください。
- 公道を走行する際は、必要に応じて照明装置と警告板を取り付けてください。



6.2 ウィングセクションを広げる

- ジルコン10Kを駐車する際は、必ず広げた位置にしてください。
- パワーハローを広げる前に、照明装置と警告板が取り付けてあれば、それらを取り外してください。
- 油圧ロック装置のロープ(A5)を引いてロックバルブ(A6)を開き、トラクターのスプールバルブを“広げる位置”に操作してウィングセクションを広げます。
- ウィングセクションが完全に広がったら、ロープ(A5)を緩めロックバルブ(A6)を再び閉じます。



- ・ “油圧装置”の説明書とともに、一般的な安全注意事項も読み、遵守してください。
- ・ パワーハローを上げたり下げるときは、必ずロープを外しておいてください。

**LEMKEN**

トラクターのRPM(毎分回転数)に対応するローターPRM(毎分回転数)

トラクターPTOシャフト RPM(毎分回転数) 1/min	ローターPRM(毎分回転数) 1/min	
	ファーストギヤ	セカンドギヤ
540	178	238
750	248	330
1000	330	440

警告 : PTO駆動を停止した後、ローターが停止するまでに数秒かかります。この間はパワーハローに近づき過ぎないようにしてください。完全に停止するのを待ってパワーハローの作業を行ってください。



- ・ “PTOシャフトの操作” の安全説明書とともに、一般的な安全注意事項も読み、遵守してください。

9 調整

9.1 水平位置

作業中、パワーハローは前後で水平に調整する必要があります。トラクターのトップリンクの長さを変更して調整できます。トラクターのPTOドライブシャフトが地面に対して平行ではなく、斜めに傾いたり上がっている場合は、パワーハローをトラクターのトップリンクによって調整し、下げる作業位置でギヤボックスの入口シャフトがPTOドライブシャフトと平行になるようにしてください。

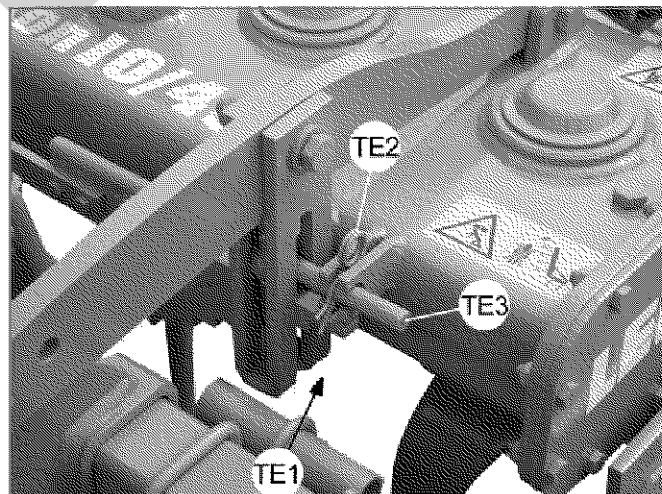
注意！ PTOドライブシャフトとギヤボックス入力シャフトが互いに平行でない場合は、PTOシャフトが振動します。この状態はPTOシャフト、ギヤボックス、PTOドライブシャフトの摩耗、損傷につながります。

9.2 作業深度

パワーハローの作業深度は圃場の状態によって決まります。通常、パワーハローはできるだけ浅く作業するようにします。

パワーハローの作業深度は、パワーハローが持ち上げられた後、左右のセンターデプス調整(TE1)によって調整します。

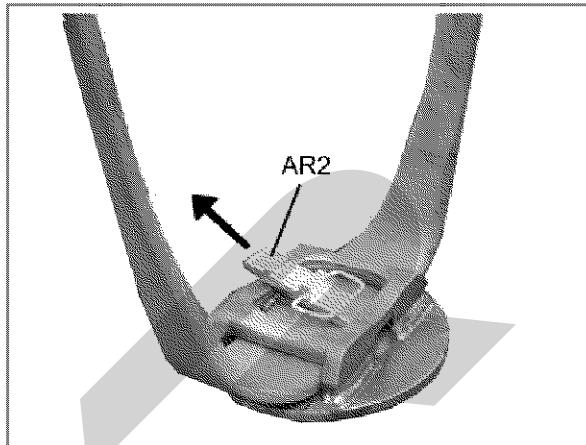
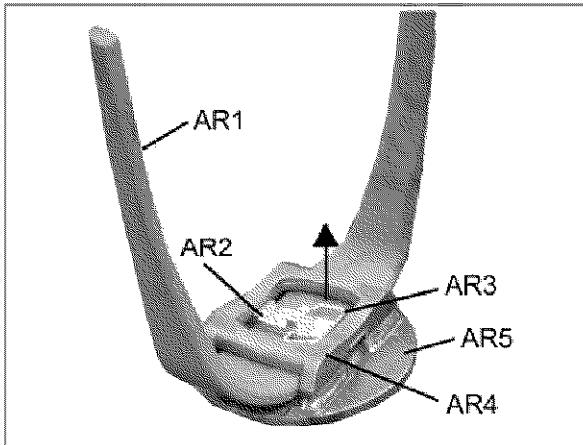
スプリングピン(TE2)を取り外した後、調整バー(TE3)を前後に動かして作業深度を調整できます。



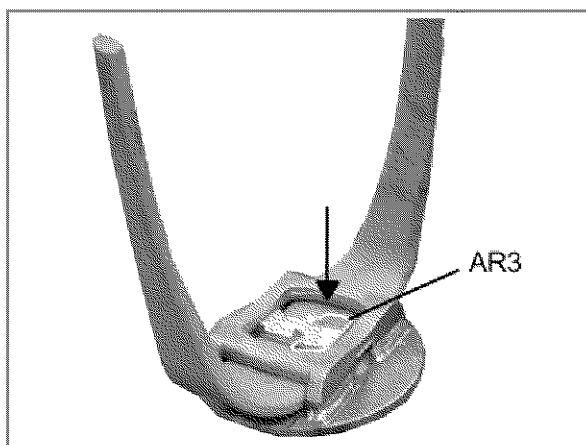
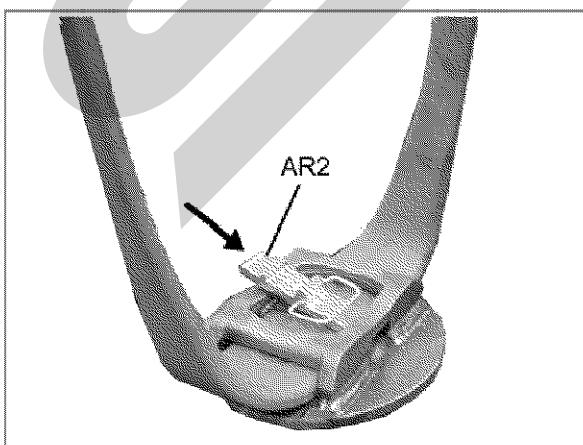
調整バー(TE3)が作業機の中央に動くと作業深度は深くなり、調整バーが外側に動くと浅くなります。調整後、調整バーをスプリングピン(TE2)で固定してください。ジルコン10Kの各パワーハロー装置には、センターデプス調整(TE1)が装備されています。

9.3 クイックチェンジ・タイン

クイックチェンジ・タイン(AR1)は簡単に交換できます。 平らな輪止めくさび(AR2)を以下のように手で外してから交換します。



1. ドライバーで固定リング(AR3)を180°折りかえします。
 2. 平らな輪止めくさび(AR2)を後ろへ動かしてから取り外します。
 3. タインのロックを外し、外側に押し、タインブラケット(AR4)から引っ張ります。
- 注意！** 平らな輪止めくさび(AR2)はローター(AR5)の両方のタインを押さえています。 1つのタインの交換が必要な場合、輪止めくさびを取り付けるときに、もう1つのタインが外れないように、また両方のタインが正しい位置に固定されるようにしてください。
4. 新しいタインを以上と逆の順番で取り付けます。
 5. 新しいタインをタインブラケット(AR4)に入れ、内側に押します。



6. クイックチェンジ・タインを平らな輪止めくさび(AR2)で固定します。
7. 平らな輪止めくさび(AR2)はそれ自体、固定リング(AR3)を折り返すことで、固定されます。

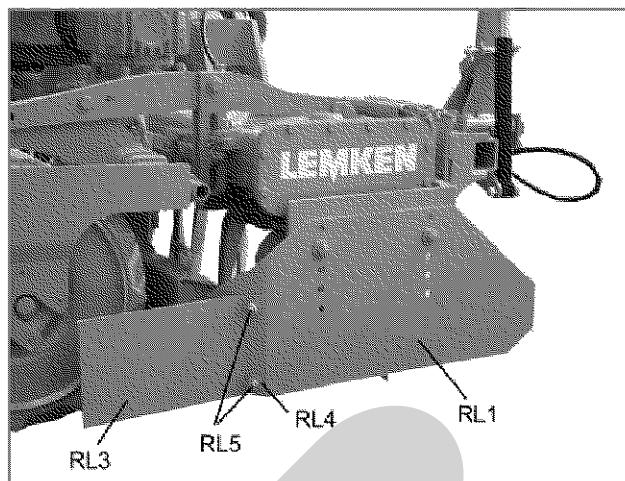
ローターのタインが隣のローターに取り付けられる場合、これはタイン角度位置が逆になりますが、どちらでも対応できます。

注意！ 固定リングは、強く張られた状態になっています。 必ず、ドライバーなど適切な工具を用いて折り返してください。



9.8 トラクターのPTO

PTOを作動させる場合は、必ずパワーハローを地面上2、3cm以内のところまで下げ、サイドカバーを広げた位置にしてください。パワーハローがこれより高い位置にあると、PTOを停止しなければなりません。



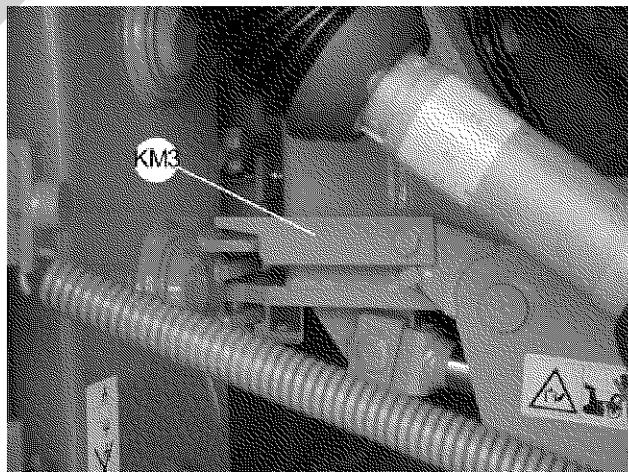
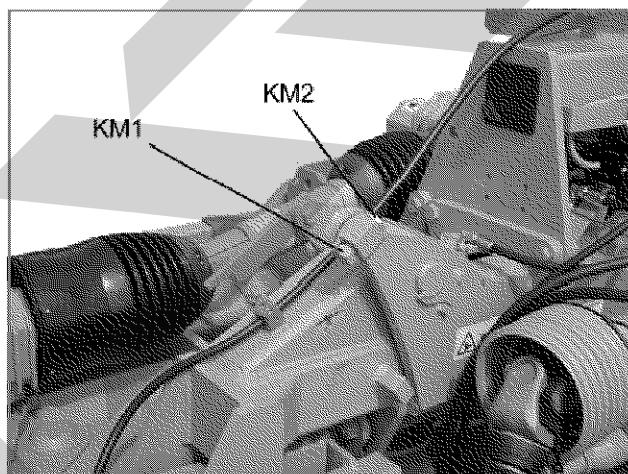
9.9 ストップスクリュー

ストップスクリュー(KM1)を使って、本体フレームと折りたたんだパワーハローを調整します。

輸送位置では、パワーハロー装置を垂直にして取り付けられた条播機にぶつからないようにします。また、300cmの許容輸送幅を超えないよう調整します。

ストップスクリューの調整後、各カウンターナット(KM2)を慎重に締めてください。

本体フレームに振り子状に取り付けられているパワーハロー装置は、下がりバー(KM3)によって、折りたたみ位置に固定されます。



- ・ “PTO駆動” “メンテナンス” の説明書とともに、一般的な安全注意事項も読み、遵守してください。
- ・ PTOを作動する場合は、必ず作業機を下げ、サイドカバーを保護位置にしてください。

10 オプション

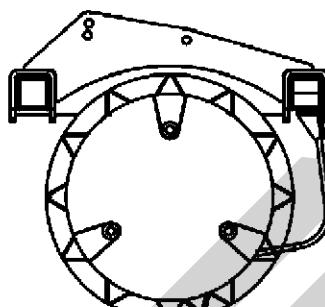
10.1 ローラー

10.1.1 一般的注意事項

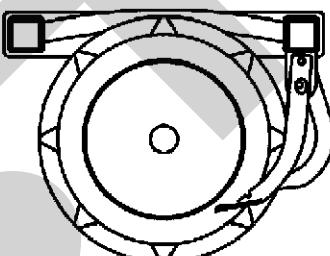
ジルコン10Kには以下のローラー(W0)が装備されています。

- ・チューブバー・ローラー RSW 540
- ・トラピーズリング・ローラー TRW 500
- ・トラピーズパッカー・ローラー TPW 500
- ・トラピーズディスク・ローラー TSW500
- ・パッカーローラー ZPW 500

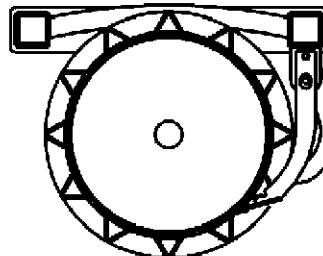
チューブバー・ローラーとトラピーズリング・ローラーはメンテナンスの必要がありません。トラピーズディスク・ローラー、トラピーズパッカー・ローラー、パッカーローラーの3種には調整可能なスクレーパーが取り付けられており、時々調整が必要です。



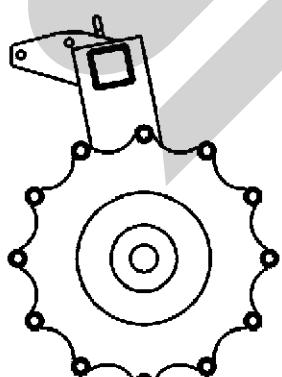
TRW 500



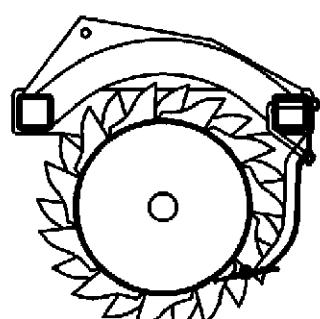
TSW 500



TPW 500



RSW 540



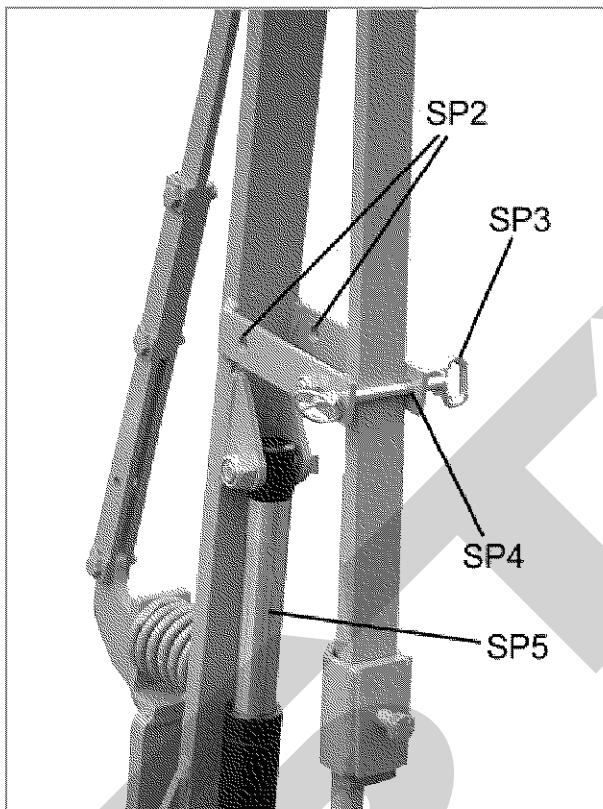
ZPW 500

13 トラックマーカー

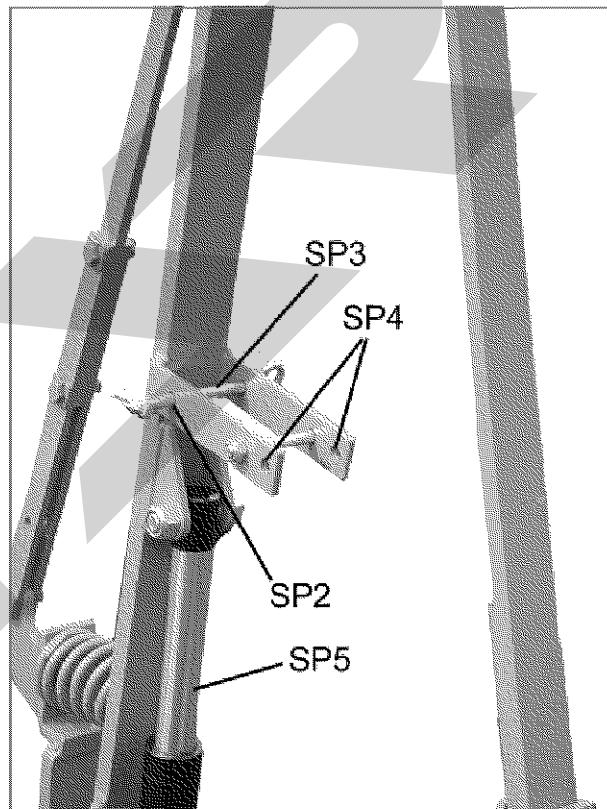
13.1 調整

トラックマーカーは油圧ラム (SP5) に取り付けられています。関連するトラクターのスプールバルブを操作する場合、マーカーは交互に折りたたまれたり広げられたりします。これはスイッチバルブで操作します。

輸送の場合、トラックマーカー (SP7) は、油圧ラム (SP5) によって折りたたみ、固定してください。



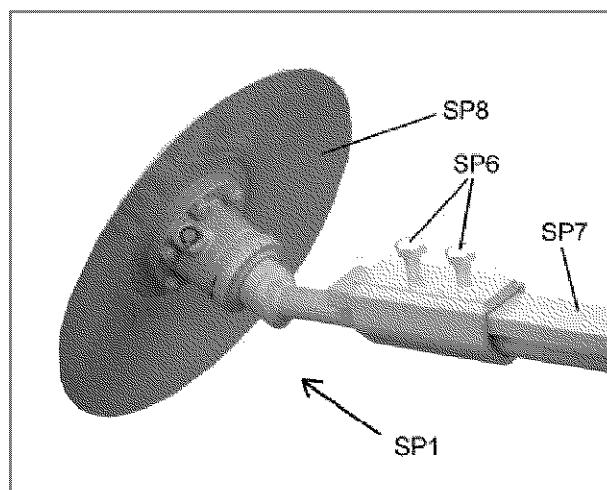
固定されたトラックマーカー (SP1)。ピン (SP3) は穴 (SP4) に入れます。



解除されたトラックマーカー (SP1)。ピン (SP3) は穴 (SP2) に入れます。

留め金ネジ (SP6) を緩めると、トラックマーカー・アーム (SP7) の長さとトラックマーカー・ディスク (SP8) の傾きが調整できます。

調整後、留め金ネジ (SP6) を慎重に締め直してください。



輸送の際は、トラックマーカー・アーム(SP7)は油圧ラム(SP4)によって折りたたみ、固定してください。

トラックマーカーは下表に従って、トラクターの輪距の中央に調整してください。

ジルコン	シードドリルの中心から溝までの距離	外側シードコルターからの距離
10/400 K	400cm	200cm+1/2 列
10/450 K	450cm	225cm+1/2 列
10/500 K	500cm	250cm+1/2 列
10/600 K	600cm	300cm+1/2 列

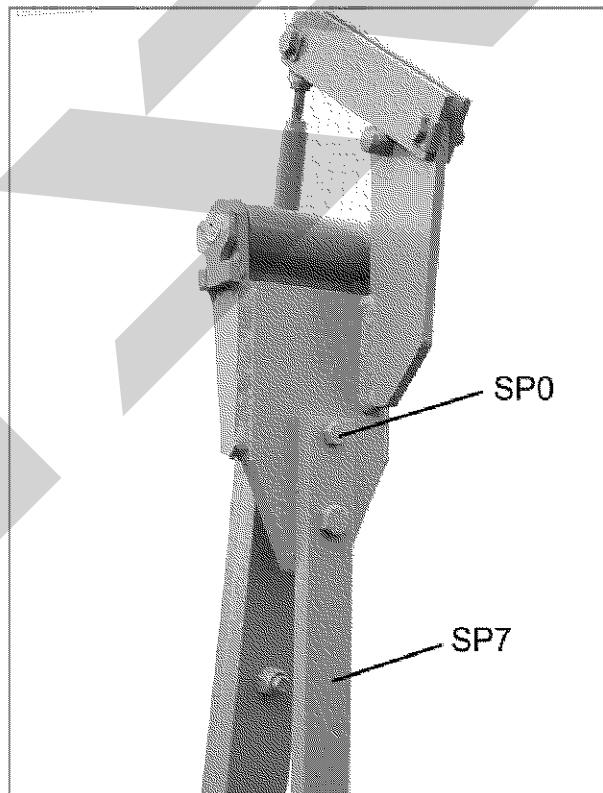
13.2 シェアボルト装置

シェアボルト(SP0)は、トラックマーカーの過負荷を防護しています。

シェアボルトが壊れた場合、シェアボルトの残骸を取り除き、新しいシェアボルトを取り付けてください。

以下のシェアボルトのみ使用してください。

- ・ シェアボルト M10 × 45/8.8
部品番号 3013240
ジルコン 9/400K とジルコン 9/450K 用
- ・ シェアボルト M12 × 45
部品番号 3013366
ジルコン 9/500K とジルコン 9/600K 用



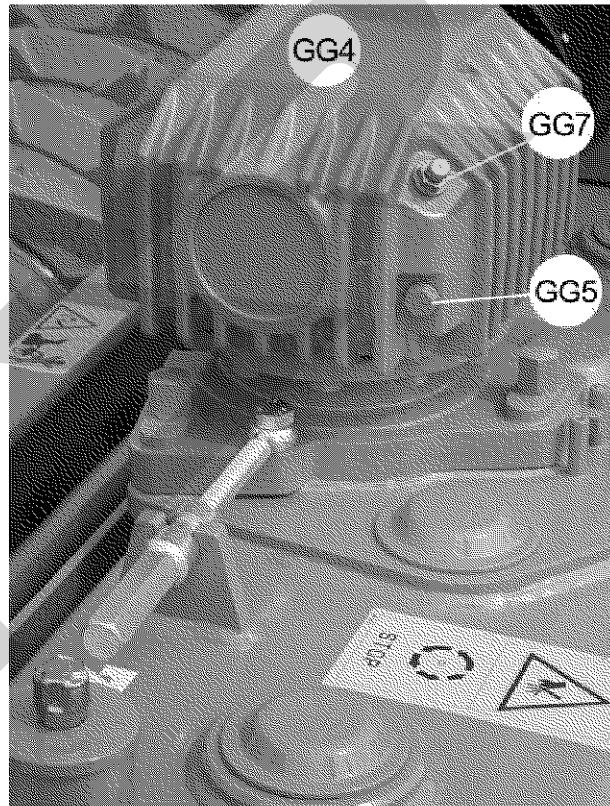
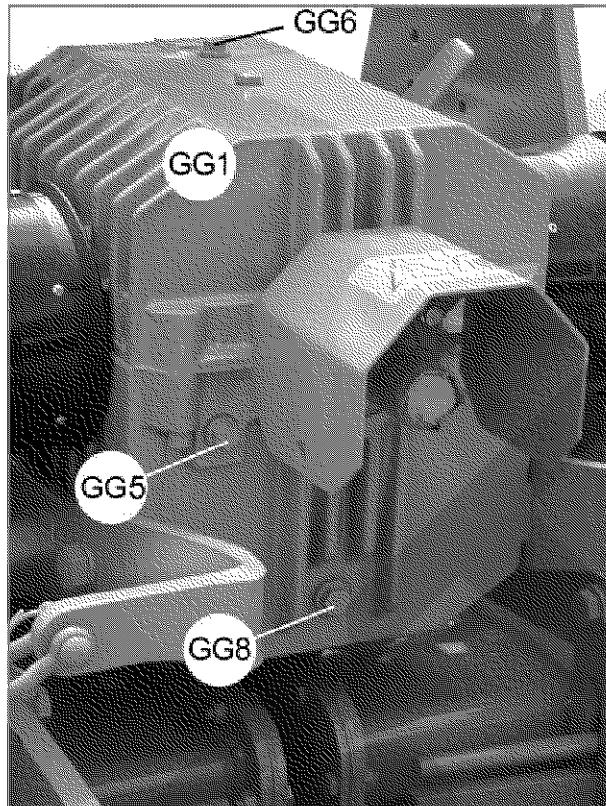
- !**
- ・ “油圧組み立て部品” “PTO 駆動” “メンテナンス” の説明書とともに、一般的な安全注意事項も読み、遵守してください。

14 メンテナンス

14.1 オイルの交換

オイルの交換やオイルレベルの点検の際は、パワーハローを平らで固い地面に置いてください。 チェンジギヤ付きのギヤボックスのオイルレベルは、日常的に点検してください。

オイルレベルは、常にギヤボックスのコンロトールネジ(GG5)に届くようにしてください。



GG1 = センターギヤボックス

GG4 = サイドギヤボックス

GG5 = コントロールレベル

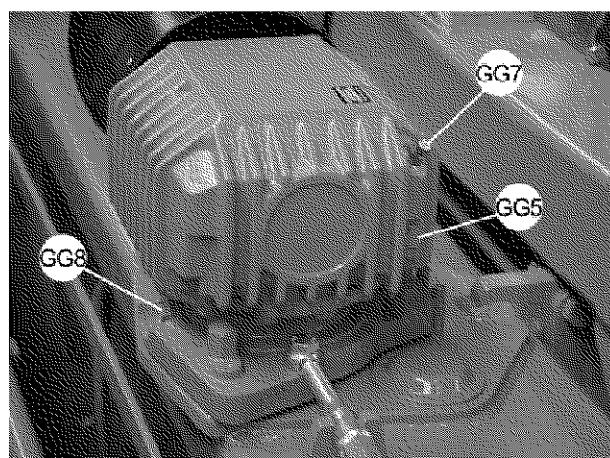
GG6 = 注入プラグ

GG7 = ブリーザー

GG8 = ドレイン

オイル交換の間隔

- 50作業時間後に最初のオイル交換をします。
- その後は、500作業時間ごと、しかし少なくとも年に1回交換してください。



ジルコン	シードドリルの中心から溝までの距離	外側シードコルターからの距離
センターギヤボックス		サイドギヤボックス
10/450 K	450cm 7.5?鉛油	225cm+1/2 列 1.62鉛油 250cm+1/2 列
10/500 K	500cm	
10/600 K	600cm	300cm+1/2 列
Mobilube HD 85W-140(Mobil) ギヤボックス用オイル または ジルコンEP Energear FE SAE 80W-140(BP)		Mobilube HD 85W-140(Mobil) または EP Energear FE SAE 80W-140(BP)
Deagear EP-C SAE 85W-140(DEA)		Deagear EP-C SAE 85W-140(DEA)
Shell Spirax HD 85W-140(SHELLI)		Shell Spirax HD 85W-140(SHELLI)

注意: オイルやグリースは法律に従って処理してください。 上表に示されたきれいなオイルのみを使ってください。 オイルレベルを点検する際は、トラクターのエンジンを停止してから行ってください。

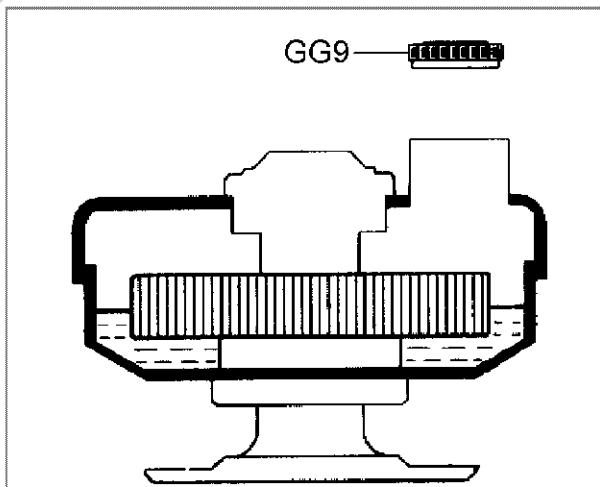
14.2 ギヤケース

トラフには、非常に長持ちで粘着性が低いグリースが入っています。 このグリースは他のタイプのグリースと混ぜることはできません。 また、4000作業時間後、または凝縮によって汚れがひどくなった場合は交換する必要があります。 汚れは白く変色することで分ります。 グリースの状態は年に1度点検してください。 点検はキャップ(GG9)を外して行います。

グリースのレベルを点検する際は、必ず機械を“ならし運転”して行ってください。

グリースレベルは、ギヤの歯の中央に達するようにしてください。

低粘着性グリースを他のグリースやオイルと混ぜないでください。



グリース

グリースは以下の量を守って注入してください。

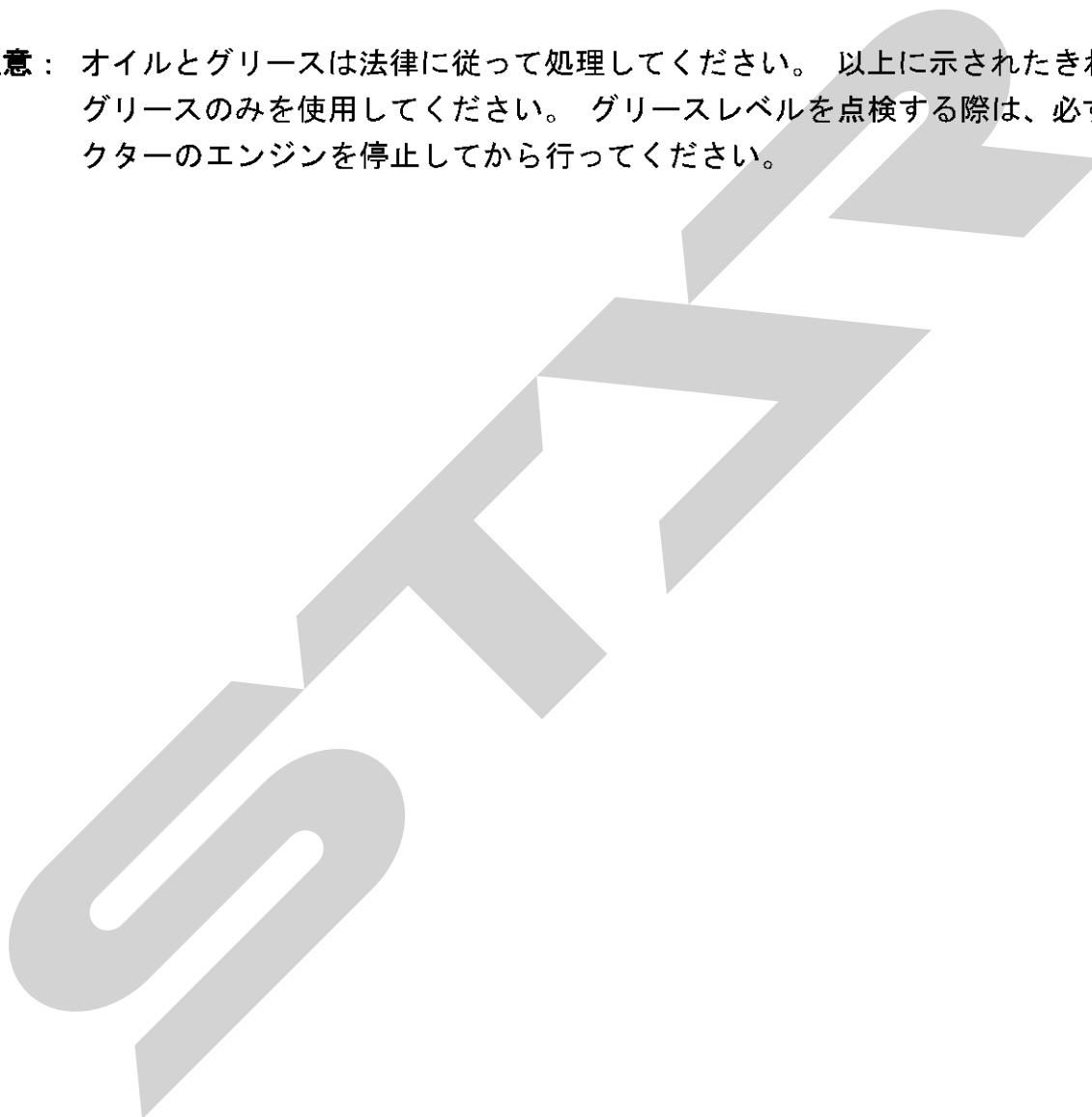
ジルコン 10/400 K = 22 ドラム 01it 00(Optimol)、1パワーハロー装置につき(総量 44 ドラム)

ジルコン 10/450 K = 25 ドラム 01it 00(Optimol)、1パワーハロー装置につき(総量 50 ドラム)

ジルコン 10/500 K = 27 ドラム 01it 00(Optimol)、1パワーハロー装置につき(総量 54 ドラム)

ジルコン 10/600 K = 33 ドラム 01it 00(Optimol)、1パワーハロー装置につき(総量 66 ドラム)

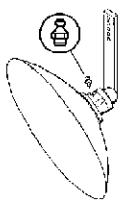
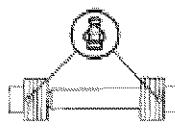
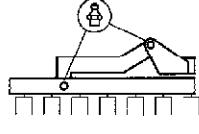
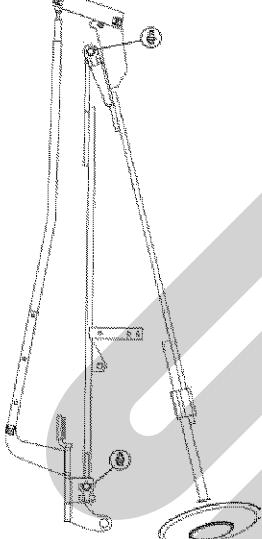
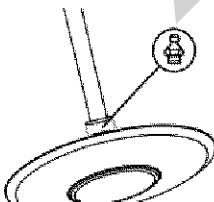
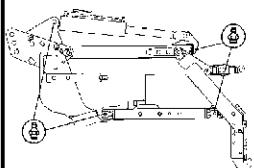
注意： オイルとグリースは法律に従って処理してください。以上に示されたきれいな
グリースのみを使用してください。グリースレベルを点検する際は、必ずトラ
クターのエンジンを停止してから行ってください。



14.3 潤滑

潤滑表に従って、汎用グリースをグリース個所に注入してください。

潤滑表

	8作業時間ごと	25作業時間ごと	長期間使わない場合 の前後
		○	○
	PTOシャフトの取扱説明書を参照		○
	○		○
		○	
		○	○
		○	○

14.4 ローターのベアリング

ローターのベアリングは、その遊びを点検してください。最初の1000作業時間までは100作業時間ごとに点検し、その後は20作業時間ごとに点検してください。遊びが大きすぎる場合、該当するベアリングを交換し、ギヤホイールやギヤケースに損傷を与えないようにしてください。

14.5 ボルト

ナットとボルトはすべて最初の2、3作業時間後に締め、また必ず最初の8作業時間内に点検し必要であれば締めてください。その後は、定期的に点検してください。少なくとも100作業時間ごとにすべてのボルトを点検し、必要であれば締めてください。

14.6 クイックチェンジ・タイン

摩耗したタインは、適切な時期に交換してください。

14.7 スクレーパー

スクレーパーは定期的に調整してください。摩耗したスクレーパーは、適切な時期に交換してください。

14.8 PTOシャフト

PTOシャフトは定期的に点検し、滑らかに動くことを確認してください。シャフトとスライド部には定期的にグリースを注入してください。カバーが回転しないよう近くの固定部品にチェーンでつないで固定してください。PTOシャフトの修理は必ず専門家が行ってください。PTOシャフトの操作とメンテナンスの説明書も参照してください。

14.9 油圧ホース

油圧ホースの損傷や漏れを定期的に点検し、異常があれば交換してください。油圧ホースの耐用年数はすべて製造後6年です。交換する場合は純正のホースのみを使用してください。

重要 :

最初の6週間はこの作業機を圧力洗浄器で清掃しないでください。その後は、少なくとも洗浄器の噴射口を機械から60cm離し、最高100barの圧力、温度50°Cで清掃してください。



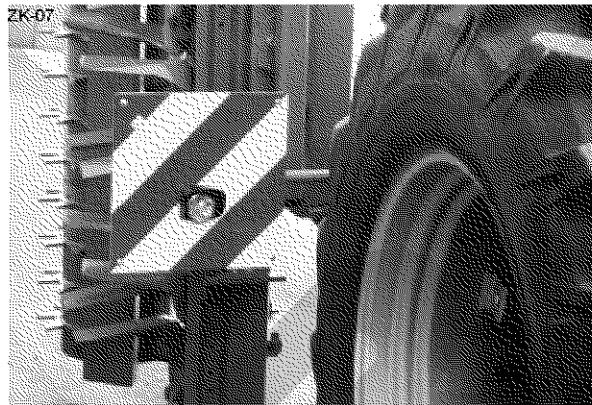
- ・ “メンテナンス”の説明書とともに、一般的な安全注意事項も読み、遵守してください。

15 公道での輸送

ジルコン10Kパワーハローは、警告板付きの照明装置を使用することができます。

公道を走行する際は、この照明装置を取り付け、関係規則に従ってください。

後部に取り付ける警告板付きの照明装置は、圃場で作業する際は、損傷しないように取り外してください。



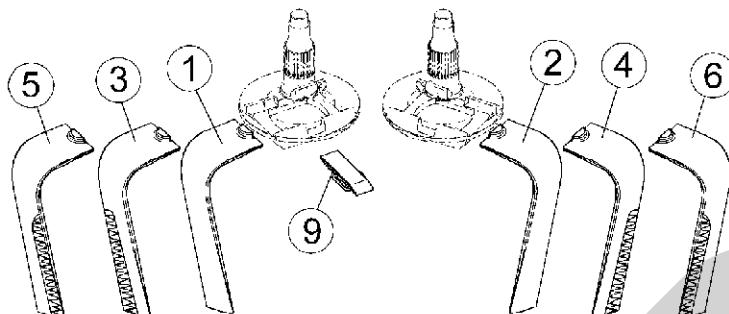
注意： 最も浅い作業位置では、折りたたみ式パワーハローは3mより幅が広くなります。

パワーハローがこのように調整された場合、センターデプス調整の調整バーを内側に調整し、輸送幅が3mより小さくなるようにしてください。

16 重量

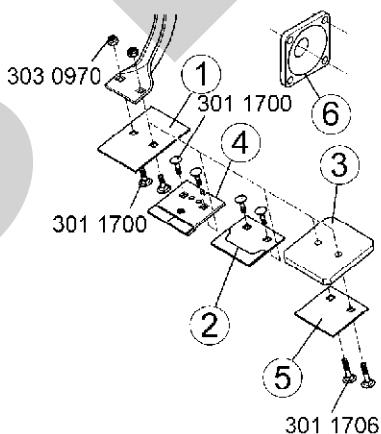
	作業幅 (cm)	重量 (kg)	パッカーローラー付き重量 (kg)
ジルコン10/400K	400	1774	2359
ジルコン10/450K	450	1908	2550
ジルコン10/500K	500	2078	2786
ジルコン10/600K	600	2464	3346

17 摩耗しやすい部品



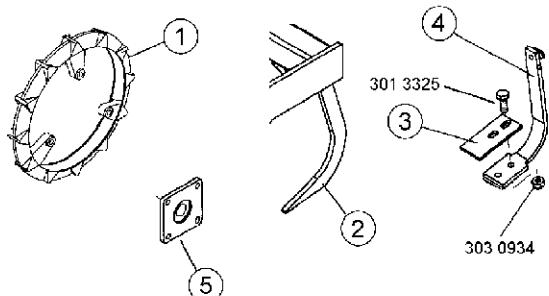
番号	部品		部品番号
1	ナイフ	SW 34 R	337 7042
2	ナイフ	SW 34 L	337 7043
3	表面に耐摩耗鋼を溶接したナイフ(引きする)	SWS 34 P R	337 7044
4	表面に耐摩耗鋼を溶接したナイフ(引きする)	SWS 34 P L	337 7045
5	表面に耐摩耗鋼を溶接したナイフ(斜面)	SWG 34 P R	337 7046
6	表面に耐摩耗鋼を溶接したナイフ(斜面)	SWG 34 P L	337 7047
9	平輪止めくさび	137×136	311 9802

ローラーZPW、RSW、FSW



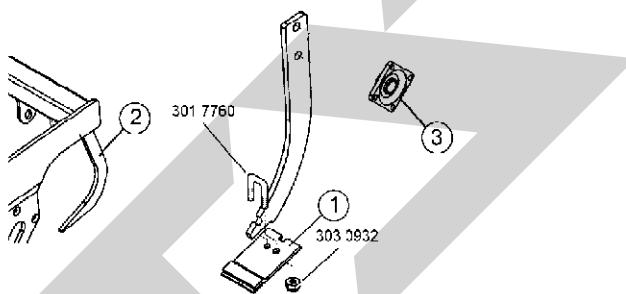
番号	部品		部品番号
1	スクレーパー	90×3×130	349 2001
2	表面に耐摩耗鋼を溶接したスクレーパー	90×3×85	349 2002
3	合成スクレーパー	110×120×12	349 2003
4	硬金属スクレーパー	90×5×94	349 2004
5	プレート	90×3×85	349 2000
6	フランジベアリング — ZPW	RCJ 35 35×118×39.9	319 9365
6	フランジベアリング — RSW、FSW	RCJ 35 35×118×39.9	319 9365

ローラー TRW 500



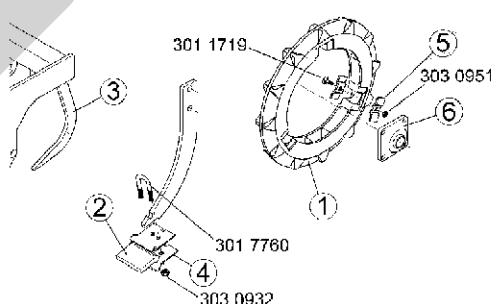
番号	部品		部品番号
1	リングトラピーズ	500 × 52 3 × D17	423 9042
2	スクレーパー	35 × 12	203 5438
3	スクレーパー	60 × 6 × 130	349 2029
4	スクレーパー	60/35/32 × 10 × 388.5	349 2025
5	フランジベアリング	RCJ 35 35 × 118 × 39.9	319 9365

ローラー TPW 500



番号	部品		部品番号
1	硬金属スクレーパー	60 × 5 × 94	349 2005
		90 × 5 × 94	349 2004
		105 × 5 × 94	349 2006
2	スクレーパー	90 × 5 × 94	203 5438
3	フランジベアリング	RCJ 35 35 × 118 × 39.9	319 9365

ローラー TSW 500



番号	部品		部品番号
1	リングトラピーズ	D500 × 52	423 9043
2	合成スクレーパー	68 × 53.5 × 10	349 2007
		93 × 53.5 × 10	349 2008
3	スクレーパー	35 × 12	203 5438
4	プレート	60 × 3 × 66	423 5908
5	プレート	35 × 5 × 78	459 4550
6	フランジベアリング	RCJ 35 35 × 118 × 39.9	319 9365



LEMKEN

18 騒音

パワー・ハロージルコン10Kの騒音レベルは、作業中で 70dB(A)以下のレベルです。

19 作業機の処分

使えなくなった作業機は専門家によって、環境に配慮して処分してください。

20 留意事項

備品の型は注文によって決まるため、お持ちの作業機の備品と関係する説明がずれている場合があります。また、常に最新の技術特性をお届けするため、デザイン、装備、技術を変更する場合もありますのでご了承ください。

本 社	066-8555	千歳市上長都 1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都 1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ 1191番地44 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西22条北1丁目12番地4 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 0153-72-2624 FAX 0153-73-2540
花巻営業所	028-3172	岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割120番3 TEL 0198-46-1311 FAX 0198-45-5999
仙台営業所	983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野字神明 179-1 TEL 022-388-8673 FAX 022-388-8735
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷 191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	861-8039	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885-1202	宮崎県都城市高城町穂満坊 1003-2 TEL 0986-53-2222 FAX 0986-53-2233